



ANUBIS ROOM CORRECTION WITH SONARWORKS SOUNDID REFERENCE

<https://confluence.merging.com/pages/viewpage.action?pageId=93258018>

Sonarkworks SoundID Reference and Anubis integration

MERGING+ANUBISは、SoundID Reference の補正をPC外部で可能にする初めてのハードウェアです。SoundID Reference 5.1.0は、不要な色付けを取り除き、正確なスタジオ リファレンス サウンドを提供するスピーカーとヘッドフォンの補正ソフトウェアです。SoundID Referenceを使うことで、どこで作業してもフラットで一貫したサウンドが得られます。

Sonarkworksの SoundID プロファイルを Anubis にアップロードして、ルーム補正やヘッドフォン補正を行うことができます。Anubisが部屋やヘッドフォンを補正するので、PCが補正のために稼働している必要はありません。

Prerequisites

- Monitor ミッションまたは Music ミッションを実行している Merging Anubis
- Merging Anubis ファームウェア 1.2.5 以上
- Sonarworks SoundID Referenceのバージョン5.1.0以上
- SoundID Referenceをインストールし、Room Correctionの最初の設定やHeadphonesプロファイルのエクスポートを行う。
- Sonarworks SoundIDの出力は、MADまたはVADで設定されている必要があります。
- エクスポートしたプロファイルは、同じシリアル番号のAnubisにのみ再インポート可能です。

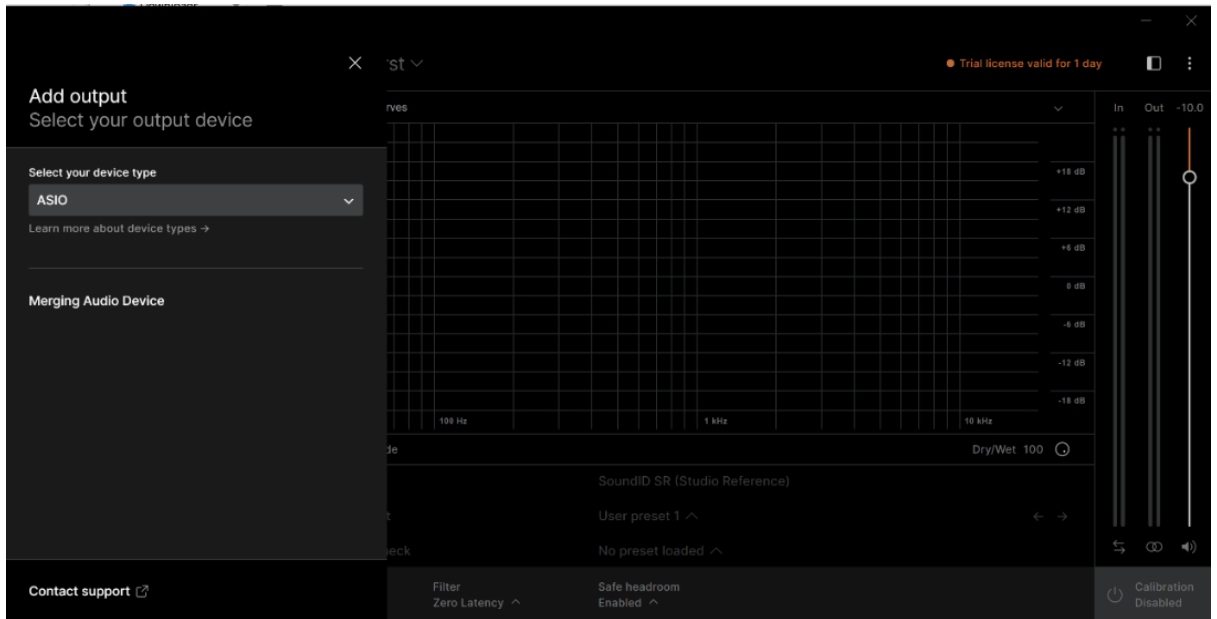
注) SoundID Referenceの補正は、44.1~192kHzに対応しています。352.8kHz (DXD) および384kHzへの対応は、将来のファームウェアリリース(1.2.5以降)で予定しています。DSDには対応していません。

Procedure

1. Sonarworks SoundID reference and Measures (Room Correctionオプション)のダウンロードとインストールを行って下さい。
2. SoundID が Merging VAD (mac) または MAD (PC) で動作するように、"Add Output "を選択して設定してください。
3. Merging Audio Device (MAD-PC) または Merging RAVENNA/AES67 (VAD-macOS) を選択してください。



例: MAD (PC)

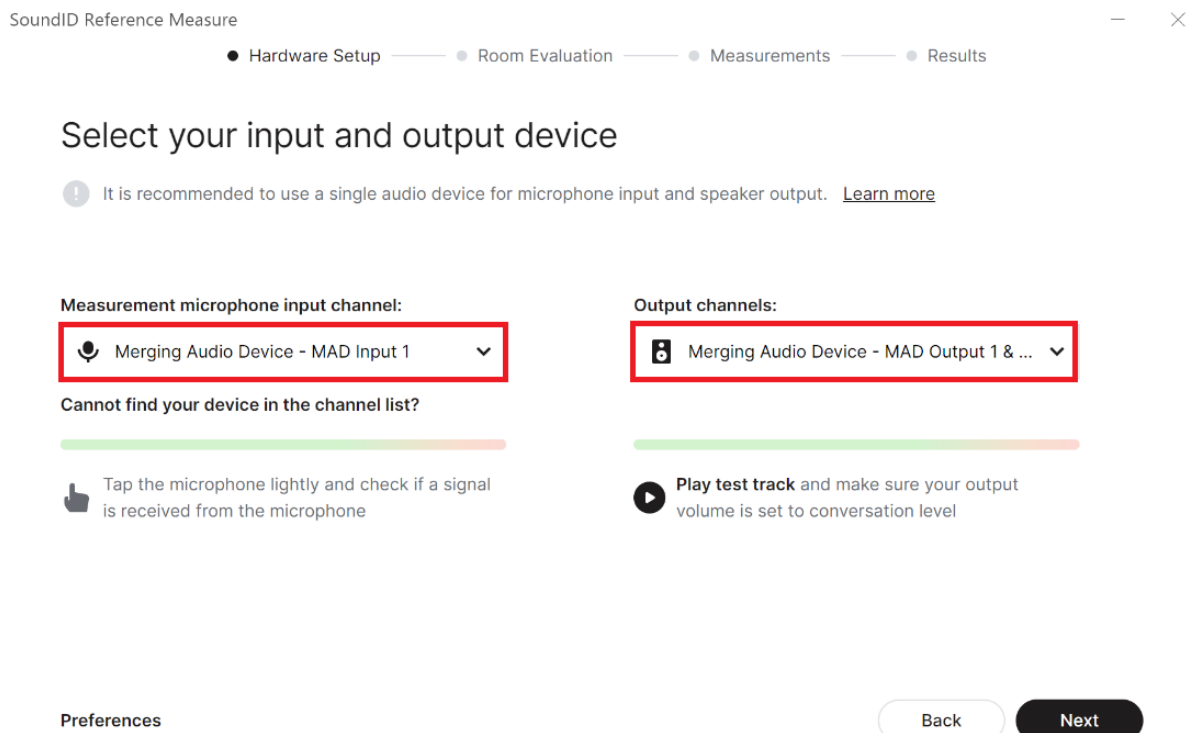


4. スピーカープロファイルの作成、またはヘッドフォンプロファイルの選択は、この部分については Sonarworks のドキュメントやチュートリアルに従ってください。

[Speakers SoundID Setup](#)
[DAW and Headphones SoundID Setup](#)

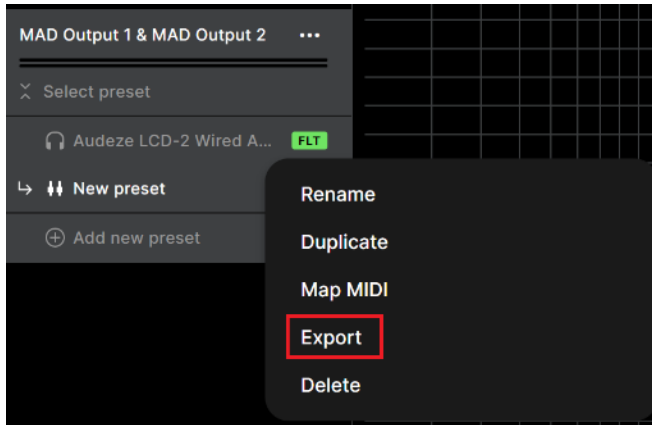
SoundID Reference Measure (ルームコレクション)

新しいSpeakers Profileを作成する場合、SoundID Measuresで使用する Anubis Mic入力とDAW出力を以下のように選択してください(MAD IOまたはVAD IO)。

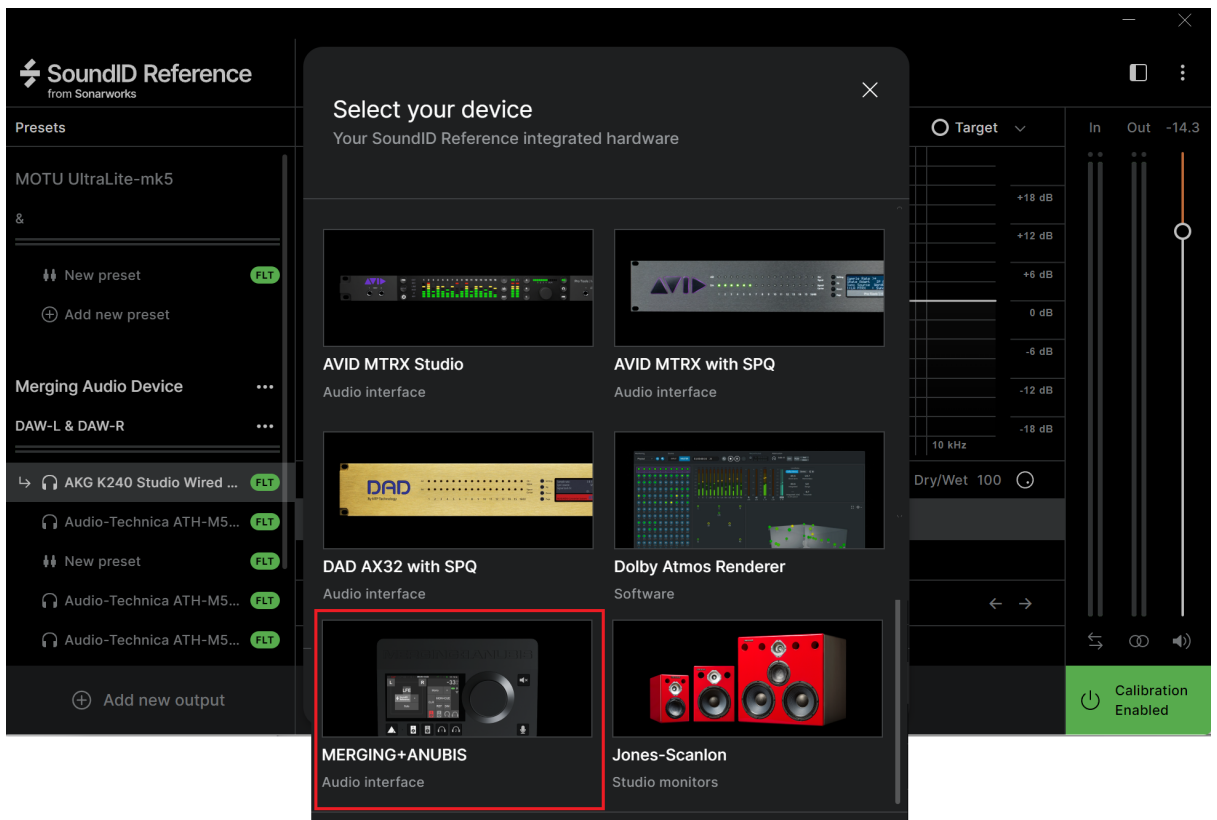




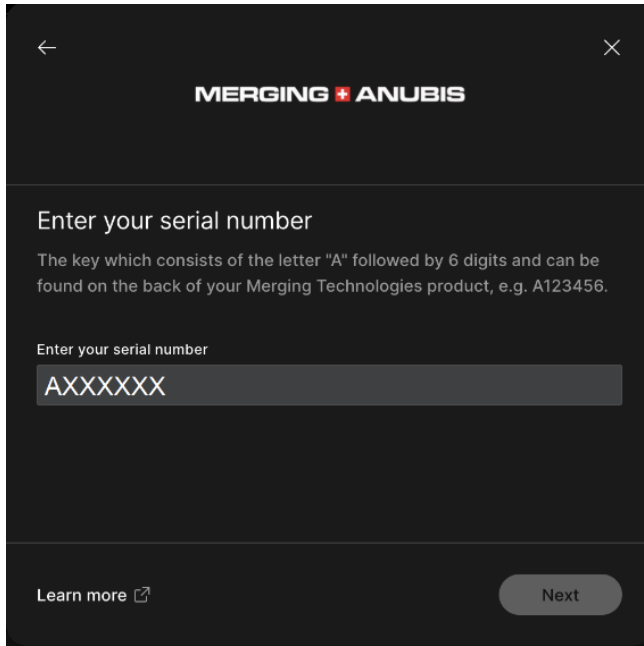
5. SoundIDでプロファイルが生成されたら、そのプロファイルを選択して "Export" します。



6. プロンプトダイアログで、「Merging Technologies (Audio Interfaces)」の項目を選択します。



7. Anubisのシリアル番号を入力してください。シリアルは、アヌビスの底パネル、または Settings > Info > AXXXXXX、または ANEMAN 上、またはMTDiscovery上で確認できます。
注: Anubisが接続されている必要はありませんが、エクスポートされたシリアルは、プロフィールを再インポートするAnubisのシリアルと一致している必要があります。

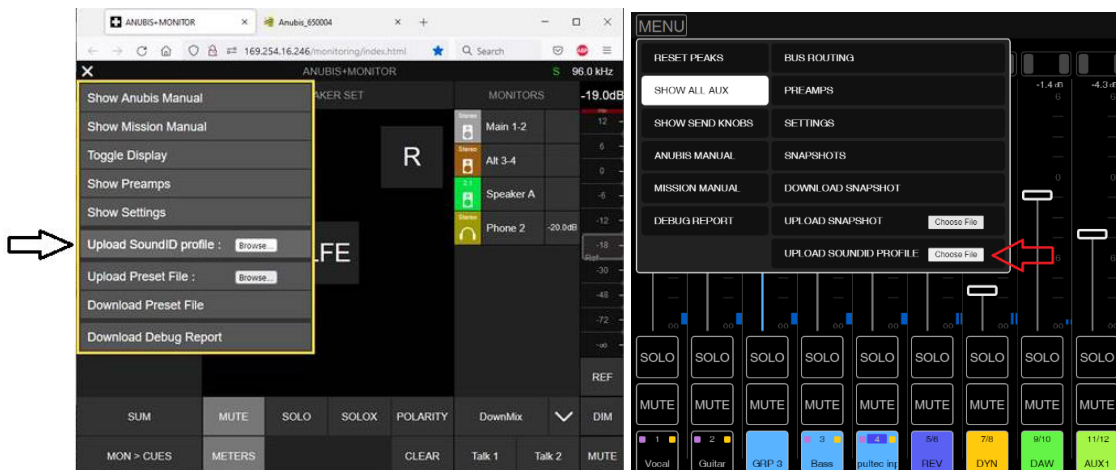


8. エクスポートされたSoundIDプロファイルのパスを確認してください。エクスポート先のフォルダを変更したい場合はここで行ってください。
9. プロファイルをPCにエクスポートしたら、SoundIDを無効にするか、終了して二重にかけないように注意してください。
10. Anubisでプリセットプロファイルをインポートするには、まずAnubisのリモートWebアクセスページを起動してください。MAD, VAD, ANEMAN 上で Anubis アイコンをダブルクリックしてください。



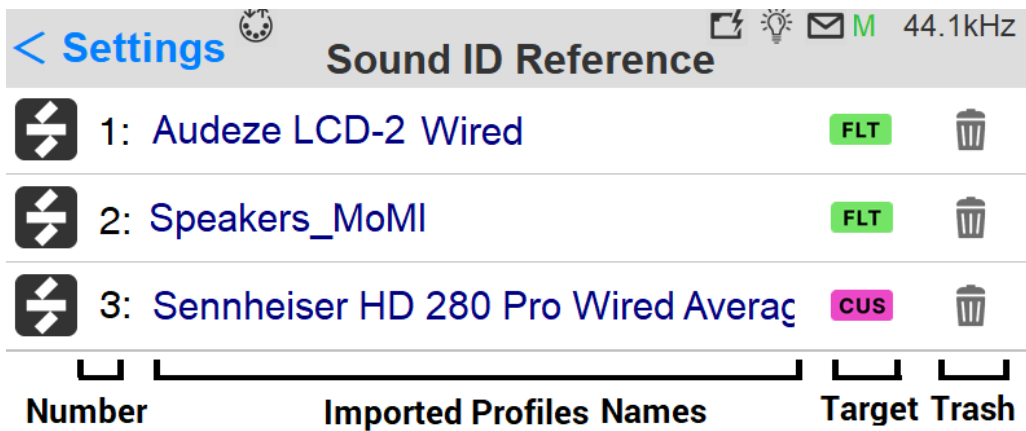
Double Mouse Click

11. Web Accessが開き、左上のメニューから“Upload SoundID profile”を選択して、Anubisにプロファイルをインポートします。





12. これでプロフィールが Anubis にインポートされました。プロフィールを管理(名前の変更、削除)するには、Settings > Sound ID Reference ページにアクセスしてください。



Number: プロフィールはアルファベット順に表示されます。

Name/Rename: プロフィール名をタップすると、バーチャルキーボードが表示され、プロフィールの名前を変更できます

Target: SoundIDプロフィールのターゲットモード

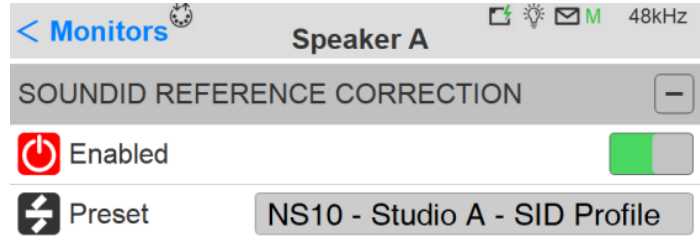
- **Flat:** 処理された部屋のニュートラルなスピーカーを基準としたフラットなターゲットカーブです。SoundID SR (Studio Reference) は、すべてのヘッドフォンのサウンドターゲットを定義します。
- **Check:** 特定のリスニング環境やデバイスをシミュレートします。
- **Custom:** カスタム。
- ターゲットカーブを調整したり、特定の周波数領域に限定してキャリブレーションを行います。
- **Delete:** プロファイルの横にあるゴミ箱アイコンをタップすると、このプロファイルが削除されます。



Monitor Mission SoundID management

Monitor Mission で SoundID プロファイルを使用するには

Anubis の Settings > Monitor にある SoundID Reference Correction で SoundID プロファイルを適用するモニターセットを開きます。SoundIDプロファイルを、スピーカーセットかヘッドフォンセットのいずれか、または両方に適用します。



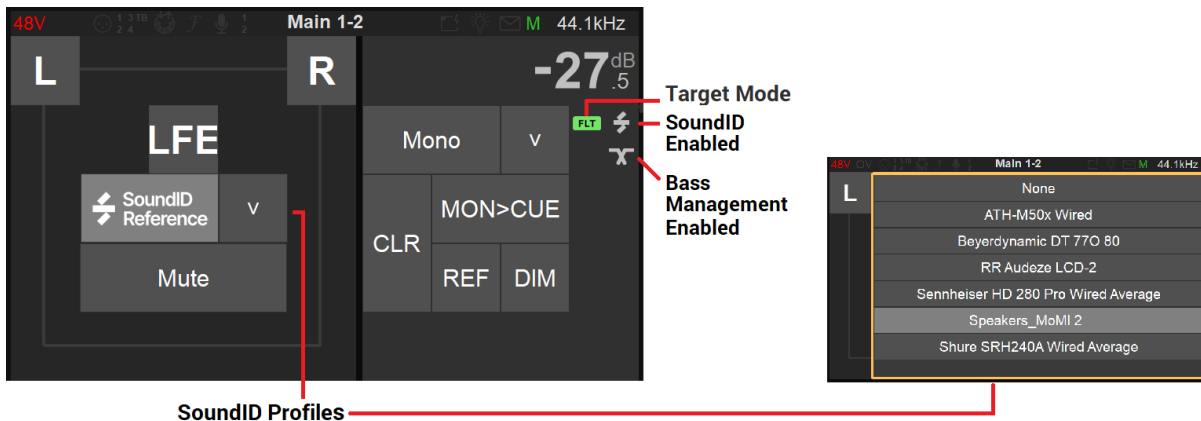
Enable

SoundID の選択したプロファイルを有効にします。



Preset

ドロップダウンメニューでWebアクセスからインポートしたアップロードされたSoundIDのプロファイルが選択できます。



注:ドロップダウンリストからSoundIDプロファイルを選択してロードします。

制限

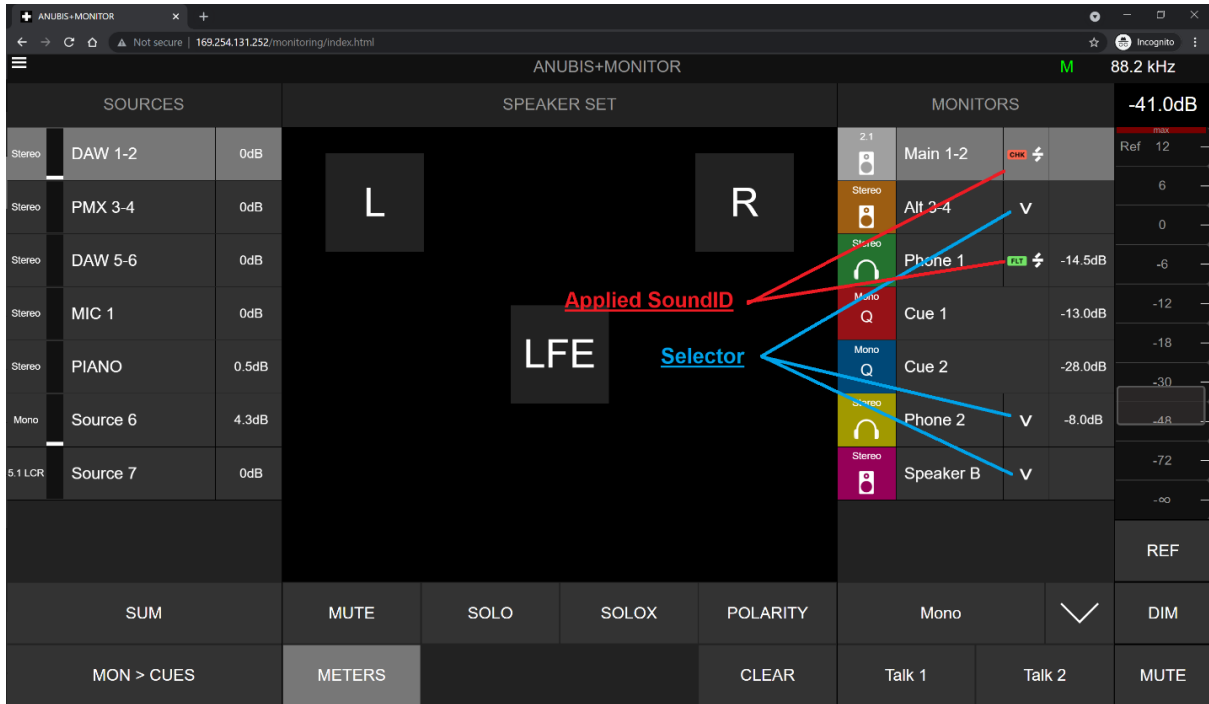
- SoundID Profilesは、Anubisのスピーカーセット、ヘッドホン、キューにいくつでも割り当てることができますが、SoundID Referenceの補正は、同時に最大2つまで実行できます(例:1xスピーカーセットと1xヘッドホン、または2xヘッドホン出力など)。
- Anubis標準EQとSoundID Referenceコレクションは、同じ種類のDSPリソースを共有します。SoundID Reference補正が実行できない場合、いくつかの標準EQを無効にする必要があります。1つのSoundID Reference補正が実行されると、44バンドの標準EQが他のタスクのために残されます。



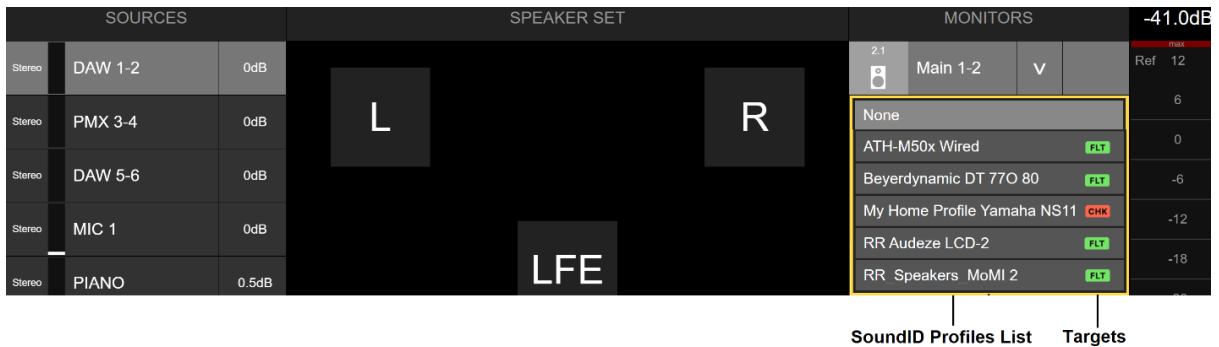


MONITOR MISSION SoundID management

SoundID remote parameters

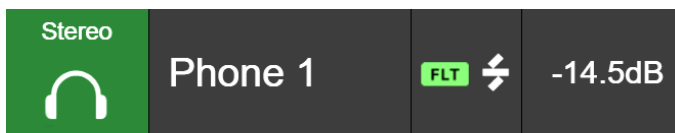


Profile セレクターがメニュー上で開きます。



適用したいプロファイルをタップで選択してください。

プロファイルがロードされ、適用されると SoundIDアイコンが表示されます。



Target and Status

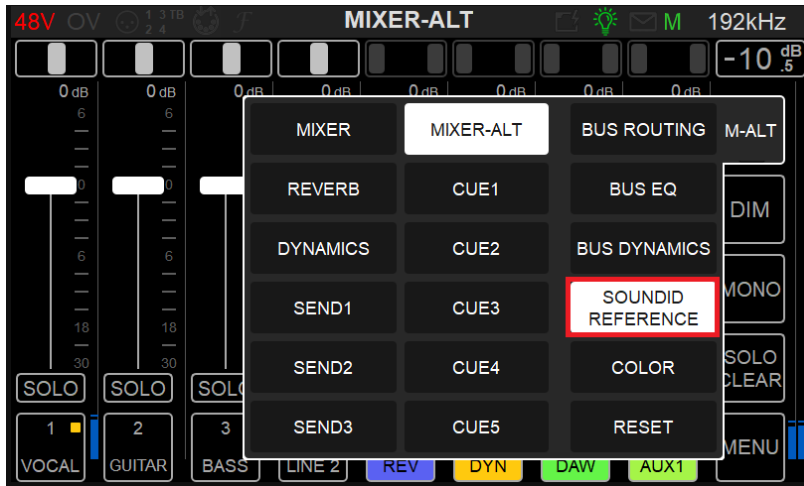


Music Mission SoundID management

Music Missionで SoundID プロファイルを適用する方法は以下の通りです。まず、プロフィールがAnubisにインポートされていることを確認してください。

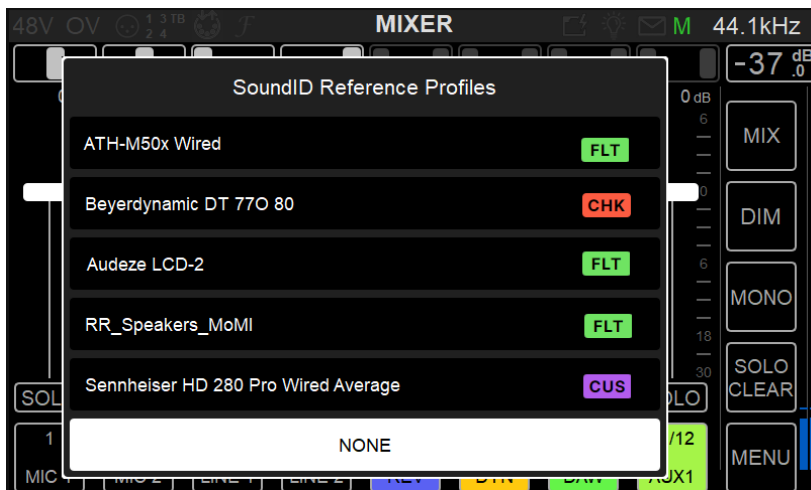
Music Mission では、SoundIDプロフィールは Mix Bus Outputs に適用され、ローカルの物理的な出力やピアリングされたデバイスの出力にも適用されます。

1. Music Mission Mixerメニューを選択し、MixバスまたはMix-ATLバスのSoundID Referenceエントリをタップします。

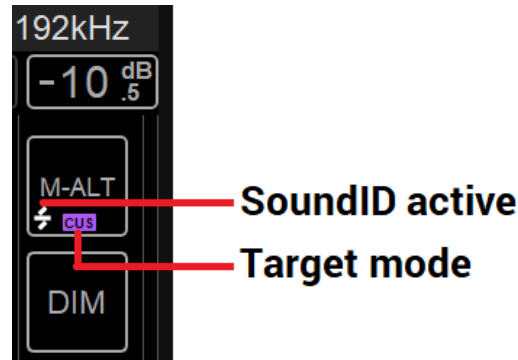


注意: SoundID Referenceの項目がグレーになっているのは、まだAnubisにプロフィールをインポートしていないためです。上記の手順が完了していることを確認してください。

2. このミックスバスに適用するSoundID Reference Profileを選択します。



3. プロファイルが選択されると、以下のようにログの識別情報が表示されます。



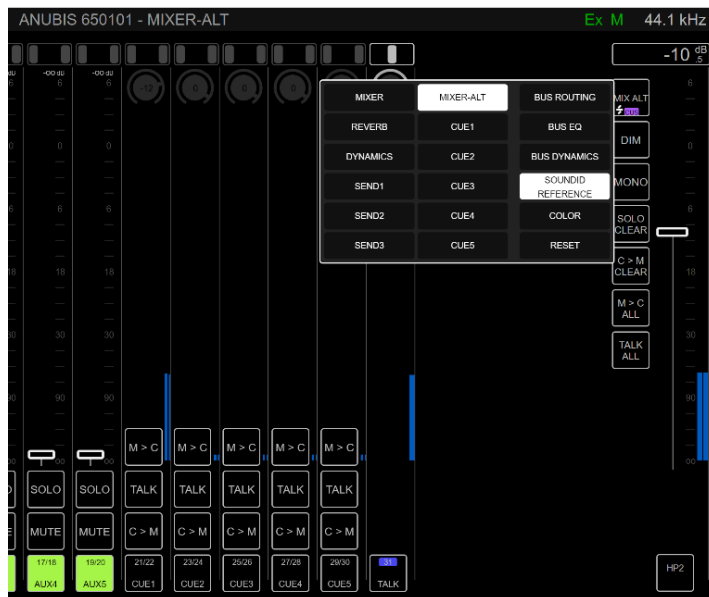
これで SoundID プロファイルを使ったルームコレクションやヘッドフォンコレクションの設定が完了し、いつでも新しいプロファイルの有効化、無効化、再インポート、管理ができるようになります。

制限事項

- SoundIDプロファイルは、同時に最大2つの Reference Corrections (Speaker または Headphone) に適用できます。
- Music Mission の Cues は SoundID プロファイルに対応しておらず、Mix と Mix-ALT のみ対応しています。
- SoundID が適用できない場合は、ストリップまたは Bus EQ の EQリソースを無効にしてください。

Anubis SoundID Remote Access:

Webブラウザ(Google Chrome推奨)から、SoundID Profilesをリモートで適用/無効化することができます。VAD-MADのオプションであるAnubis Remote Control Appにも対応しています。



Web Access Remote

Network Discovery



Anubis_66003

- Unite
- Open Web UI
- Open Advanced Page
- Open Maintenance Page
- Launch Remote Control

Remote Control Application

